

## 「婦人の地位の向上と平等」を掲げて

（三鷹の女性町議会議員の第一号）

本書は、戦後まもなく旧三鷹町初の女性議員を務めた鈴木千代子氏の生涯を綴った、ご長女の鈴木紀子さんによる回想録です。生活を楽しむ心、戦地の中国に夫を追って行く行動力、「婦人の地位の向上と平等」を掲げ経営者として議員として全力で邁進する姿。そして夫の鈴木平三郎氏を市長へと導き、バイタリティあふれる47年を駆け抜けた鈴木千代子氏。まさに「鮮烈なる人」の記録です。



著者：鈴木紀子  
書名：『鮮烈なる人 鈴木千代子』

○仕様  
サイズ：四六判 130ページ  
印刷：オフセット印刷  
製本：ソフトカバー  
発行：2019年5月

●プロフィール  
鈴木紀子  
三鷹初の女性議員と三鷹市長の両親をもち、大学在学中から「婦人会館」の運営や選挙活動に携わる。

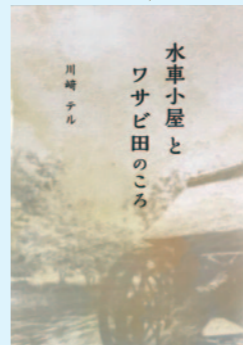


ことごとメモ  
千代子さんの生き方に圧倒されつつも爽快でした。その潔さは娘の紀子さんに受け継がれています。

## 90年前の暮らしが振り返りが見えてくる

（戦前戦後の暮らしを聞き書き）

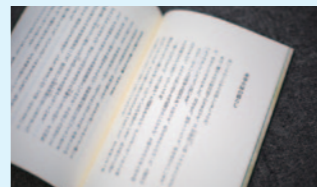
かつて三鷹にあった水車農家「おおぐるま」に生まれ育った川崎テルさんが、90年前の暮らしを思い出しながら語った「聞き書きによる自分史」です。水車小屋での暮らしやワサビ漬物を軍隊に配達するエピソード、花嫁衣装で歩いて嫁いだ思い出などが、ほがらかで思いやりに満ちた語り口そのままに、綴られています。子どもたちから働きどおしだったテルさんの姿が目につくような1冊です。



著者：川崎テル  
書名：『水車小屋とワサビ田のころ』

○仕様  
サイズ：A5判 36ページ  
印刷：デジタル印刷  
製本：ソフトカバー  
発行：2018年10月

●プロフィール  
川崎テル  
1923（大正12）年、水車経営農家「おおぐるま」に生まれる。戦争の前後は大沢のワサビ問屋で働く。



ことごとメモ  
時にはテルさん手づくりの「うでまんじゅう」をいただきますながら、お話を伺うひとときは温かい時間でした。

### 6 Promises

ことごと舎の本づくり。お客様への6つのお約束です。

## 6つのお約束

- 1 「生きている証を残したい。でも自分で書くには難しい。そんなお客様さまにはプロのライターが聞き書きをいたします。
- 2 「こんなスタイルにしたい」「あんな雰囲気で見たい」ご希望に沿って編集者やデザイナー、印刷・製本の職人たちが力を合わせ、よりよいカタチをつくります。
- 3 ことごと舎では、ご自身が表現したものすべてを「自分史」と考えています。旅行記や写真集、句集など「あなただけの本」をつくりたい。
- 4 丁寧で良質な本づくりのために、膝をつき合わせた打ち合わせをいたします。
- 5 ご来社が難しいお客様のもとにも喜んで伺いました。
- 6 ことごと舎の母体は、約60年続く印刷会社です。組版・デザインから印刷・製本まで、一貫生産体制による質の高い本づくりをいたします。



## 第22回日本自費出版文化賞に3冊入選！

年間3～4万冊以上発行されているといわれている自費出版。その振興と文化的地位向上を図る目的で1997年に設けられたのが、日本自費出版文化賞（一般社団法人日本グラフィックサービス工業会主催、NPO法人日本自費出版ネットワーク主管）です。第1回から2019年の第22回までに17,500点余りの応募がありました。わたしたちの自費出版も毎回出品し、連続入選を果たしています。今年も3冊が入選しました。

## 第22回日本自費出版文化賞入選作品

エッセー部門  
『1978年20歳の日記から1980年22歳の日記まで』  
著：柴家 嘉明  
A5判 ハードカバー  
2018年12月27日発行

研究・評論部門  
『言葉を旅せよ、日本の人よ。』  
監修：本澤 康之 著：清田 祐一  
四六判 ソフトカバー  
2019年2月27日発行

グラフィック部門  
『仕事祈』（しごといのり）  
著：加納 賢（二代目 莊五郎）  
A4変形 コデックス装 上製本 函入り  
2018年12月25日発行

京都の織物メーカー会長、加納氏が染織作家との交流を通じて集めた作品135点余を収録した貴重な資料集でもあります。



途絶えてしまった職人技で作られた作品も収められています。

## 価格の参考例

お客様のご要望によって予算は様々です。下記は自分史を例にした参考価格です。

## 「自分史」の場合の標準価格

[仕様] 四六判(天地188×左右128mm)、ソフトカバー、無線綴じ製本、見返し、本文・表紙1色印刷、カバー4色印刷

### 原稿がある本をつくる場合

お客様ご自身が書いた原稿をプロの編集者が確認・アドバイスをし、お客様と一緒に本づくりをします。

例 160頁前後

50部 50万円～  
200部 60万円～

### 聞き書きで本をつくる場合

プロのライターが聞き取りし、原稿をつくり、お客様に確認をしていただきながら本づくりをします。

例 80頁前後

50部 70万円～  
200部 80万円～

\*価格はケースバイケースです。原稿が手書きかデータか、写真が紙焼きプリントかデジタルデータかはもちろん、本文の紙の種類、部数など様々な要素で違ってきます。一般的な入稿スタイルでの概算価格ですので、ご了承ください。

### 編集後記

## 小さな『ことごと舎便り』

◆ことごと舎誕生から4年。「ルーツを調べ、記憶をたどり、人生の整理ができた」「勇気づけられ、次へのステップになった」……そんなお客様の声に支えられ、良質な本づくりを目指しています。(稲)

◆自分史や作品集などを作る方が増えてきているようです。改元やオリンピックなど世の中の大きな節目で、ご自身の歩みを振り返ろうという気運が高まってきているのかもしれない。(宮)

◆自分史の聞き書きをしていると、「話し始めたら次々に思い出しますね」という方がおられます。記憶の糸をたぐり寄せているとき、その方の瞳もお肌も輝いて見えるのはなぜかしら。(竹)

生きている証を残したい”  
お客様の気持ちを大切に、  
自分史、旅行記、写真集、画集、句集……  
丁寧な本づくりで応えます

3

自費出版専門工房

ことごと舎  
From kotokotosya  
Vol.3  
便り

第22回  
日本自費出版  
文化賞に3冊  
入選！



日英バイリンガルでまとめたお菓子のレシピ集、俳句やスケッチなどをまとめた作品集、旧三鷹町（東京）初の女性議員を務めた女性の生涯を綴った回想録、水車経営農家に生まれ育った大正生まれの女性の聞き書き本など、充実のラインナップです。